

第 3 回原子力委員会臨時合議録事録（案）

1. 日 時 1998 年 1 月 16 日（金）10:30～11:10

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 慶家委員長代理、依田委員、遠藤委員、木元委員
竹内日本原燃株式会社代表取締役社長
（事務局等） 今村審議官
伊藤原子力調査室長
池本専門委員
土屋核燃料課長
核燃料課 柏野
動力炉開発課 永田
資源エネルギー庁原子力産業課 小松
日本原燃株式会社 佐々木代表取締役副社長
〃 飯足代表取締役副社長
〃 鈴木常務取締役
〃 河井企画課副部長
原子力調査室 杉本、新井

4. 議 題

- （1）動燃事業団のウラン濃縮について日本原燃から意見聴取
- （2）その他

5. 配布資料

- 資料 1 動燃事業団の整理・縮小事業（ウラン濃縮事業）に関する意見
- 資料 2 原子力委員会専門部会等の原子力委員の担当について（案）
- 資料 3 第 2 回原子力委員会定例会議録事録（案）

6. 審議事項

- （1）動燃事業団のウラン濃縮について日本原燃から意見聴取
標記の件について、竹内日本原燃株式会社代表取締役社長より資料 1 に基づき、動燃事業団の整理・縮小事業（ウラン濃縮事業）に関して意見聴取した。
委員より、
・機微技術の管理に関する具体的な要望は何か
等の質問があり、日本原燃から
・国の適切な機微技術管理の下、原燃としては技術移転に關し的確な対応を行い、核不拡散の疑念を生じることのないよう対処する考え
等の発言があった。また、委員より
・情報開示に關してネガティブな方向ばかりでなく、進める方向で対応すること
も考えてほしい。機微情報の管理と P A の観点との関連は慎重に考えるべき問題
・機微情報の管理については、一般の人にも開示できない理由を明確に説明し、疑念が生じないようにしてほしい
・ウラン濃縮事業については、国から民間への事業移管のよい例となるので、よろしく協力願いたい
との意見があった。
- （2）その他の議題として、事務局より資料 2 に基づき、原子力委員会専門部会等の原子力委員の担当について説明があり、原案のとおり了承された。
- （3）議事録の確認
事務局作成の資料 3 第 2 回原子力委員会定例会議録事録（案）が了承された。